

地域公共交通ネットワークの「見える化」について

経路検索ではバスが使えない？

地域公共交通ネットワークの「見える化」プロジェクトを開始した平成25年当時、多くの経路検索サイトでは鉄道は検索できていてもバスの検索までは対応しておらず、結果的にバスの利用を諦めるか、バスがあると知っているても、電話かバス会社のホームページにアクセスするしか情報を収集する手段はありませんでした。

バスの経路検索未対応



岐阜駅
岐阜城

16分 37分 1時間 23分

出発時刻: 14:00 オプション

経路が見つかりません

実際にバスが走っていても、経路検索には出てこない。

バスの経路検索対応後



岐阜駅
岐阜城資料館

14分 37分 1時間 23分 14分

出発時刻: 14:00 12* オプション

おすすめの経路

🚌 N41 ... > 🚶 > 🚶 金華山 ... > 🚶 37分
14:04 - 14:41 ¥850
14:07, 14:12 J R岐阜 13番のりば 発

他のオプション

🚌 N41 ... > 🚶 > 🚶 金華山 ... > 🚶 41分
14:00 - 14:41 ¥850
14:03, 14:07 J R岐阜 13番のりば 発



地域公共交通ネットワークの「見える化」について

各県主催GTFS-JP作成実務講座の様子



静岡県主催「標準的なバス情報フォーマット実務講座」(R1.9.5)の様子

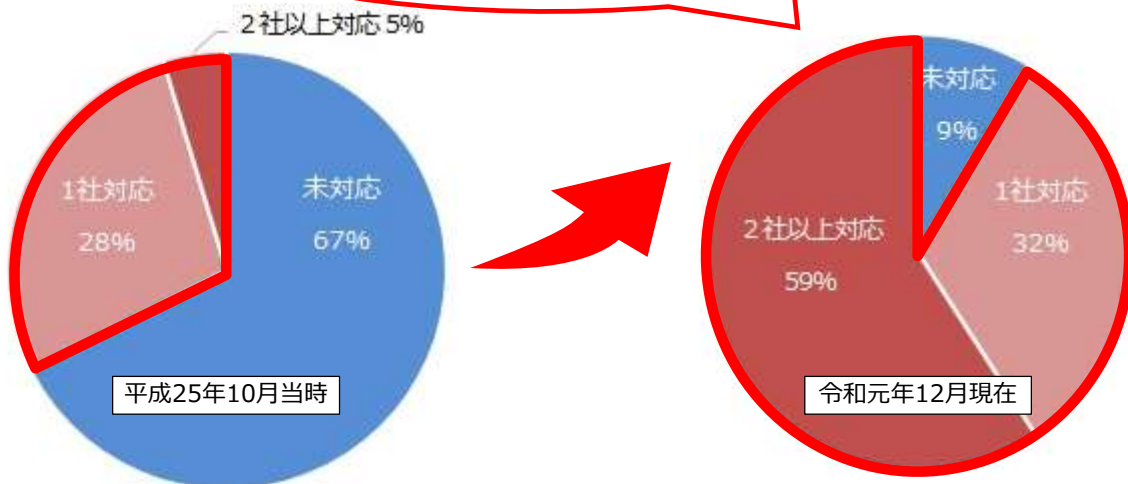
中部運輸局の取組み

バス会社や自治体を対象に、検索サイトを運営する会社にバス時刻情報等の提供を促すため、バスの時刻情報等の電子化支援を行うとともに、広報活動等を通じたプロジェクトを行いました。

プロジェクト開始から6年が経過し、取組みに賛同いただいた各県交通担当者様などの協力もあり、当時約3割程度であった経路検索サイト等への対応状況は、令和元年12月調査では約9割にまで上昇しました。

中部地区5県のバス会社、自治体の乗り継ぎ検索対応状況

主な経路検索サイトへの
乗り継ぎ検索対応率は
約**9**割まで上昇



経路検索体験イベントの実施



市民祭り等に経路検索体験ブースを設置。タブレットを使って、実際に経路検索アプリを体験してもらいました。
(岐阜運輸支局主催「バスと電車でおでかけしようスマホ活用術」)

バス情報のオープンデータについて

近年、バス会社等が作成する時刻情報等を国土交通省が定めた「標準的なバス情報フォーマット」(GTFS-JP)で作成し、オープンデータにする動きが進んでいます。これにより、経路検索サイトとのデータ共有が加速し、将来的にはMaaSなどの新たなサービスへの活用にも期待されています。

「標準的なバス情報フォーマット」で時刻情報等を作成し、オープンデータにするメリットは？

① 経路検索サービスの充実

- ・ 来訪者や訪日外国人旅行者にバスを認知してもらえます
- ・ 沿線住民のバス利用促進により、運転免許返納や環境負荷軽減行動等が期待できます

② データを自ら活用

- ・ マイ時刻表やデジタルサイネージ等のバス利用促進ツールを作成することも可能です
- ・ バス路線分析等を目的とした資料作成にも活用できます

③ 将来的にはこんなことにも期待

- ・ MaaS等の新たなサービスや、自動運転バス運行システム、ベンチャー企業等によるアプリ開発等への活用にも期待
- ・ 許認可申請書類や報告書類の作成等、業務改善にも期待



国全体でオープンデータを推進

- ・ 「官民データ活用推進基本法」が平成29年12月に施行され、国や自治体はオープンデータに取り組むことが義務付けられています。
- ・ 令和元年8月、「標準的なバス情報フォーマット」(GTFS-JP)は政府として公開を推奨するデータの「推奨データセット(応用編)」に追加されました。